

DF NOW

2006 Winter
NO2

ディレクトフォース
DIRECTFORCE

〒100-0003

千代田区一ツ橋1-1-1

パレスサイドビル9F

電話03-5288-7560

発行人・水野 勝

印刷・㈱ケーブリント

DFアカデミーの活動実績

会員の経験が活きる

ユニークな講座内容

大学で聞けない企業論

アカデミーの活動は、現在、毎年350コマをコンスタントに超える実力を蓄えるに至っています。

なかでも、最も標準的に行われている講義が、会員の経験がそのまま反映できる、企業論、産業論のオムニバス講義です。従来の大学講義では聞くことが出来ない生の話として学生に興味をもつて受け入れられています。講師が各自の出身企業・業界でのケースを基に講義をし、企業活動への理解を深めてもらうもの。獨協大学、多摩大学、昭和女子大学、秀明大学、専修大学で行っています。

テーマを絞ったシリーズ講義としては、「ベンチャービジネス論」（江戸川大学公開講座）、「エンジニアの法律」（武蔵工業大学）、「企業経営と企業法務」（同志社大学）があります。

DFの独自性を活かす

DF独自の試みとして、多摩大学で

4年目を迎える、講義・グループ討議・発表を組み合わせたゼミ形式のプログラムがあります。グループ討議には、各グループにDF会員がアドバイサーとして参加します。期中に学生と飲み会を催し、大いに盛り上がります。

現役を離れ分刻みのスケジュールから開放され、どう時間をつぶそうかとそれまで見もしなかった市報を見ていたら、公民会主催の成人大学講座なるものを発見。中で「世界に目をむけて」というタイトルに引かれ、その講座を受講していたら、昔からお付き合いのある宇部興産の合田さんにはった

り。そこで「原田さんお暇なら…実は…」と紹介されたのがDF。

何かをするというより、異業種の方々と知り合えることとそこでの軽く一杯に引かれ参加させてもらった。しかし水野さんをはじめ事務局の人々の頑張りで今では会のミッシヨ

DFライフは現役引退後の元気の素

ン、組織そして諸活動もしっかりと確立され、メンバーも400人を越えるほどに成長し、おめでたい限りだ。

大学などでの講義やコンサルでのお手伝いを通して、現役を離れややもするとボケてしまいそうな頭を必

死に使うチャンスを与えてもらえることは、小生にとって何事にも代え

がたいことだ。特に若い学生と交流をしたり授業についての感想文などを読ませてもらうと、「今時の若い者は…」ととてもいいえなほど真面目でしっかりしているのに驚かされ、

講師の量と領域の拡大

DF設立時から続いている講義として、拓殖大学の教養講座「世界の中の日本」「産業と人間」があります。既に40名を超える方が出講しました。

当面の課題は、講師陣の量的拡大と領域の拡大にあります。大学等での講義に興味をお持ちの方、あるいは一度挑戦してみたい方はご自分のテーマのレジメを添えて事務局へ申し出て下さい。

小生の乏しい経験が少しでも若い人の役に立てればとまた意欲もわいてくる。

勉強会、工場技術チーム例会の後の飲み会そしてカラオケ、美術同好会の集まり等々、多岐にわたる経験の持主の集まりだけに皆さん話題も

原田忠和

豊富でついつい
お酒が進んでし
まうのは小生だ

けだろうか。

お陰で今でも会社の後輩からお元氣ですねといわれているが、今後もDFに積極的に参加させてもらうことのでいつまでも若く元氣でいたいものだ。

ウズベキスタン、拉致家族への 愛と心遣いがあふれる

講師・中山恭子氏

総会の記念講演の講師は元内閣官房参事の中山恭子氏にお願いした。DFの世話人である給田英哉氏の紹介で、今回の講演は実現したが、たまたま同じくDFの代表世話人である長富祐一郎氏は大蔵省時代に中山恭子さんの上司であった。

講師が中山氏ということで会場は立錐の余地もないほどの超満員。氏はいつもの女性らしいやさしい、ていねいな言葉づかいでいながら、明確な論旨で聴衆の耳をひきつけていた。

講演の前半は、氏が、1999年から3年間全権大使を勤めたウズベキスタンの話。

氏は着任して、他の国では使うことのなかった「どうぞご遠慮なく」という言葉を使うようになった。ウズベクの人々の相手をおもんばかり態度に接してつい声に出してしまった。それに象徴されるようにウズベキスタンの風土・文化は日本と大変に似ており、いっぺんで親しみを感じたそうだ。

このように氏の話にはウズベキスタンへの親しみがあふれていて、この国を少しでも多くの日本の方に知っていただきたいという熱意が伝わってきた。

後半は、氏が内閣官房参事として熱心に取り組まれた北朝鮮の拉致被害者の家族に関する話。当事者でなければ語れない現場の生々しい事実が率直に述べられ、聴衆が熱心に聞き入っていた。

た。

特に、注目を集めたのは、曾我ひとみさんとジェンキンスさん、二人の娘さんとのジャカルタでの再会。北朝鮮の随員からジェンキンスさんを守る

会ト
勉強
レポート
9月

競争の嵐が吹きすさぶ 航空機・航空業界

今回は講師が2名。テーマは航空機業界及び航空業界の現状と展望。

最初は、住友精密工業(株)元専務の中村氏。氏は同社にて航空機用各種装備品の設計開発に従事してきたが、同時に防衛航空大手の英国BAEシステムズ社との合併企業で経営者としての重責も果たし、海外メーカーの動向にも詳しい。

氏には航空機業界の現状と展望を話していただいた。なかでも、今話題になっているエアバスとボーイングの商戦について興味深い話を聞いた。エアバスの最新機A380は座席数555の輸送量を誇る。一方ボーイングの最新機B787は航続距離15700キロとその長距離性を特徴とする。大型機の市場はこの2社の対決が見ものである。

最後に中村氏は、長年航空機産業に携わってきたものとして、欧米に比較して遅れをとっている日本の航空機産業の発展を強く願っていた。次の講師は、全日空(株)の元専務山下

ための警戒、警備の進め方、家族が日本行きを納得するためのさまざまなアプローチ、脱走兵であるジェンキンスさんの訴追を避けるためのアメリカとの交渉など報道では知りえない事実を知ることができた。

愛情とともに強い意志が感じられる素晴らしい講演で、万雷の拍手が鳴り止まなかった。

さぶ

講師・中村洋明氏・山下光二氏

氏。氏は全日空ワールド(株)の社長も勤め、航空業界の世界的なアライアンスも推進してきた。

氏には航空業界の現状と展望を話していただいた。

航空業界は、グローバル化の影響で市場は急速に拡大しているが、同時にアメリカが主導する規制緩和のために、厳しい競争にさらされている。

その競争に打ち勝つために各社は新しいビジネスモデルを構築して、生き残りをかけて争っている。

大手はHub&Spokeのビジネスモデルを基本にアライアンスを組んでシェア獲得を目指している。現在、世界の大手は、スターアライアンス(ANAが参加)、ワンワールド(JALが参加)、スカイチーム3つのアライアンスグループに統合され、それらで世界の営業収入の77%を占めている。

一方、サウスウエスト社やジェットブルー社に代表される新規台頭の会社は、Point to Pointの

ローコストキャリアー(LCC)によるビジネスモデルを基礎に低コスト・低運賃で急成長している。

会ト
勉強
レポート
10月

がん対策は、予防のための 生活習慣と早期発見

講師・柏崎昇一氏・佐々木光信氏

われわれDF会員の世代が最も関心のあるテーマの一つががんとその治療法である。そこでがん保険の契約数ではNO1実績のあるアメリカンファミリー生命保険の執行役員である柏崎昇一氏と同社の医長をされている佐々木光信氏を講師に招き、がん治療の最新状況と同時に予防方法について聞いた。

がんに関する検査治療法は急速な進歩をしており、その結果、手術後の平均余命は急速に伸びており、現在では、がんは死に病という印象は薄れている。

最新の治療法として注目されているのが、「粒子線療法」。手術で切除できない深部のがんや他の治療法では効果のないがんの患部に、陽子や炭素の原子核を照射する治療法。その他、いわゆる高度先進医療といわれる治療法が開発されている。しかし、高度先進医療は保険の適用外なので自己負担が大きい。ちなみに前述の粒子線治療法では300万円前後かかるといわれている。

検査法で最近注目されているのが「PET検査」。がん細胞にブドウ糖が多く取り込まれることを利用し、放射線で標識されたブドウ糖を注射して検査するものである。

激しい競争の下での生き残り競争は注目されるところである。

治療法が進化したとはいえ、がんにかからないのが最も良い方法。国立がんセンターががん予防8ヶ条を発表している。

①禁煙・受動喫煙の予防 ②適度な飲酒(日本酒換算1合) ③野菜1日400グラム ④塩蔵食品・塩分摂取は最小限 ⑤定期的運動 ⑥成人期の体重維持(27≦BMI≦20) ⑦熱い飲食物は最小限 ⑧肝炎ウィルスの感染は是非守りたい生活習慣である。

そして、重要なのが早期発見。健康診断で発見された場合と自覚症状が現れて発見された場合では治療成績に明らかに差があるというデータもある。不幸にもがんが発見されたときに注意しなければならぬことが、病院選び。病院によって治療成績が大きく違う。早期の肺がんの治療成績が病院間で倍近い差があるという驚くべきデータもあります。「がん治療は、病院選びから」と理解したい。

そのためには、医者から十分なインフォームドコンセントを受け、セカンドオピニオンを求めることである。今回の講演内容は、命にかかわることだけに、講演後の聴衆の質問は尽きることがなかった。

事務局だより

「DFベンチャー」の立ち上げ

発会式、第1回勉強会を実施
登録会員は94名に

ベンチャー企業の支援を目的として「DFベンチャー」が結成され9月7日に67名の会員が参加して発会式が行われました。

当日は三菱UFJキャピタル常務、詫摩武裕氏をお招きして「ベンチャー企業の新規上場、期待される外部支援」と題する講演をいただきました。

ベンチャーキャピタルから見たDFとの結びつきの重要性など具体的なお話をいただき大変有意義な講演と好評を博しました。

こうした自己啓発を目的とした勉強会は、今後6回シリーズで毎月1回開催していく予定で、次回は10月23日(月) 学士会館において専修大学教授、平尾光二先生にお願いする予定です。「DFベンチャー」への登録会員は現在94名で、今後4～5人1組でチームを組み、営業支援やIPOを目指す企業の支援活動を行っていきます。

皆様のご協力の下、少しずつではありますが実績を上げていくつもりです。(お問い合わせはDFベンチャー担当の事務局・児玉、西村にお願いいたします)

監査役部会第2クール研修会

今回の新しい試み

グループ研究「企業買収と監査役」

DFの人材紹介事業を担っているのが「サーチチーム」ですが、この活動を下支えし同時に会員各位の自己啓発の場を提供するため、昨年監査役部会を組織し、現役監査役ばかりでなく多くの会員の方々に部会に参加していただきました。その活動は研修会を通じて時代の求める監査役・人間力のある実践的な監査役を生み出すことを目指しております。

昨年に続き本年も第2クールの研修会を計画しており、基礎講座は11月8日、12月7日、1月10日の3回、実務戦略編は10月25日を皮切りに来年5月まで毎月開催する予定です。

また、本年の新しい試みとして、小グループによる特定のテーマの研究活動を始めることとなり、「企業買収と監査役」というテーマが決まっています。

すでに8月に監査役部会については会員の皆様にはご案内済みで、部会への参加申込をいただいている会員数は9月20日現在92名で、研修会にはベンチャー企業等外部からも10名程度の方も参加されると思われます。

(監査役部会についてのお問い合わせは事務局の担当の坪井または川添まで)

美術同好会

安曇野でスケッチ合宿

相互批評と酒宴で親睦が深まる

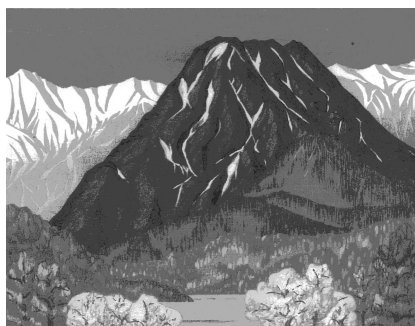
DF美術同好会の仲間は、4月に安曇野の温泉で合宿してからいっそう結びつきが密になった。

人目に晒すことの少ない自作を、遠慮なく批評されるが、刺激を受け励みになる。仲間の絵からヒントをもらい作画の過程を語り合うのも参考になる。なにより付き合いが深まり一段と酒が旨くなるのが良い。

合宿では温泉の中でも議論が絶えない。ご夫人方も参加され、個展を開く達人もおられる。油絵、水彩、版画、日本画、漫画など範囲も広い。会員は多士済々であるが、難しい話はしない。学生時代に戻ったような集まりである。

皆の夢はパリでグループ展を開くこと。まずは都内での展覧会を実現させたい。

9月にブリジストン美術館で裏話付の鑑賞会、11月に八ヶ岳で第2回合宿を行った。(酒井尚平記)



ワイン・クラブ

勝沼醸造を訪問

ワインとフレンチを満喫

9月の例会は担当幹事の原石根さんの企画で勝沼のワイナリー・勝沼醸造を訪問しました。9月23日、快晴の「勝沼ぶどう郷」駅に19名の参加者が集合。オーナーの有賀社長案内で葡萄畑、醸造所を見学し、レクチャーを受けました。1200年の歴史を持つ甲州種葡萄のワイン造りにかける有賀社長の情熱と行動力に感服しました。特別室での数々の甲州種の白ワインの試飲では素晴らしいアロマ、ブーケ、爽やかでしかもコクのある味に一同賞

同好会通信

賛しきりでありました。

有賀社長の経営する丘の上の教会風のフレンチ・レストラン「風」で絶品のロースとビーフを生わさび醤油でいただき、有賀ワインとのマリナーージュを楽しみました。



ぶどう園を見学

本当日に満足の一日でありました。ことに同伴の婦人たちから

は大好評でありました。(戸成了晟記)

麻雀同好会

函館の地で

麻雀&ゴルフで大バトル

谷口雄二郎さんが函館出身で大久保征二さんが学生時代を函館で過ごしたということで、前回の大会後の宴会で、函館行きが急遽決定。

9月18日、大型台風15号とともに北上、函館にたどり着く。谷口さんの紹介でまずは新鮮な海の幸で腹ごしらえ。いざ決戦に。麻雀大会は地元の利を活かして谷口さんが優勝。



地元の利を生かして優勝した谷口さん

夜の宴会は、地元の経営者、地域産業振興財団の方と交流会。さすがDF会員。ただ遊ぶだけでなくちゃんと勉強もするのです。

翌日はゴルフ。台風が上陸。しかし、みんなの日ごろの行いがよいため、スタート時には晴れ間も見えるほど。後半豪雨に襲われたがハーフは楽しめました。優勝はゴルフ幹事の児玉亭さんが「お手盛り?」優勝。

食べて飲んで目一杯遊んだツアーでしたが、ちゃんと函館の会員も開発してくるしたたかさも発揮しました。

(三木延義記)

新入会員紹介(7月～9月入会)

①生年(西暦) ②住所③経歴④学歴⑤専門・特技・趣味など

7月入会

田中 克巳 ①44年②埼玉③西武環境
開発取締役・ジョイントコーポレーシ
ョン副社長④慶應大商⑤株式公開・不
動産管理

千葉 昌信 ①40年②東京③日本経済
新聞取締役・日経BP専務④早稲田大
法⑤出版・広告業務

瀬谷 洋子 ①55年②大阪③日本航空
国際線乗務員・オフィスワイズ代表④
明治大法⑤人材育成コンサルタント

牧野 功 ①41年②千葉③東洋エンジ
ニアリング専務④東京大工⑤プラント
設計

飯田 邦彦 ①38年②千葉③丸紅専
務・片倉チッカリン社長④東京外大英
米⑤化学品全般

佐野 勉 ①38年②東京③住友銀行・
リョーサン専務④東京大教養⑤財務運
営

溝口 演男 ①36年②東京③東芝・東
芝西日本テクノネットワーク社長・江
戸商事社長④京都大経済⑤重電営業・
家電サービス事業

小林 新一 ①56年②神奈川③日本航

空、JALホテルズ経営企画部長④東
京大経済⑤経営企画・ホテル再建

三村 公二 ①41年②神奈川③三菱レ
イオン専務④京成大工⑤事業支援・工
場支援

岡田 清治 ①43年②神奈川③東京商
工会議所産業政策部長・東京流通セン
ター常務④日本大経済⑤中小企業支援

村山 明久 ①43年②埼玉③大正製薬
理事④慶應大経済⑤医薬品営業

田中 健一 ①39年②神奈川③東レイ
ンターシヨナル社長・蝶理社長④京
都大法⑤事業再生

榎村 勝 ①44年②神奈川③日産自動
車・大井製作所社長④京都大院機械工
学⑤エンジン設計・自動車部品

馬来 勝彦 ①40年②神奈川③朝日新
聞社・朝日広告社社長④早稲田大商⑤
広告・マーケティング

堀 保之 ①47年②東京③森永乳業・
日本リーバ・ニユースキンジャパン副
社長④早稲田教育⑤生活関連商品マー
ケティング

8月入会

曾山 高光 ①39年②東京③キャノン
欧州本社副社長・キャノン保険センタ
ー社長④慶應大経済⑤海外マーケティ
ング

少林 正彦 ①44年②千葉③武田薬

品・日本調剤インテリジェンス部長④
北海道大薬学⑤医薬経営コンサルタン
ト

藪本 亜里 ①58年②東京③ファイナ
ンスクリニク社長④立教大文仏⑤女
性起業家支援・ファイナンス支援

岡山 正徳 ①36年②京都③ユニチ
カ・上越観光開発社長④奈良県立短大
商経⑤国内リゾート経営

永岡 嘉明 ①45年②栃木③滝沢ハム
研究室長・シーデーパージヤパン専務
④東京水産大製造⑤人材派遣

岡本 紀男 ①43年②千葉③丸紅・サ
ーモテック副社長④京成大農⑤航空機
営業

平田 豊正 ①43年②神奈川③横河電
機名古屋支社長④中央大理工⑤プロダ
クトマネジメント・人材育成

小山 勝士 ①39年②東京③東海銀
行・オートバックスセブン取締役④京
都大法⑤オートバックスの海外進出

池ノ谷 一彦 ①37年②東京③大成建
設常務・大成ユーレック副社長④早稲
田大理工⑤海外営業・水処理プラント

上山 常夫 ①46年②東京③明治生
命・明治キャピタル取締役④神戸大経
営⑤ベンチャーキャピタル

牧岡 良和 ①39年②東京③住友銀
行・大沢商会常務④慶應大経済⑤海外
営業・高級輸入商材

相原 孝雄 ①44年②神奈川③東海銀
行・藤和不動産副社長④早稲田商⑤経
営再建策

杉山 孝義 ①42年②埼玉③日産デ
ィーゼル工業専務④中央大商⑤トラク
営業

島崎 勇夫 ①42年②東京③富士銀
行・太平洋銀行取締役④一橋大商⑤中
小企業経営指導・上場指導

織本 聡 ①46年②東京③サッポロビ
ール総務部次長④京成大経済⑤人事・
労務

辻田 光 ①46年②東京③サッポロビ
ール専務執行役員④早稲田大商⑤ビー
ル営業

9月入会

本田 安弘 ①40年②神奈川③大成建
設・大成ツーリスト常務④関西学院大
経済⑤営業企画・管理・監査業務

生駒 浩一 ①42年②東京③新日本製
鐵海外事業室長④早稲田大政経⑤海外
事業・業務監査

緒方 容造 ①44年②東京③電通営業
局長・電通国際情報サービス取締役④
慶應大経済⑤広告営業・海外媒体

貝塚 正彦 ①43年②千葉③金門製作
所取締役常務執行役員④学習院大理学
⑤研究開発・流量計業界

脇田 祐吉 ①41年②神奈川③三井物

産・木下物産常務④早稲田大政経⑤中
小企業育成

榎 彰一 ①71年②東京③朝日生命・
ブロードリンク社長④神戸大農⑤パン
コン事業

大工原 宏直 ①45年②東京③日産デ
ィーゼル工業執行役員常務・サン用品
社長④日本大理工⑤品質保証

宮田 勝 ①36年②神奈川③本田技研
工業専務④慶應大法⑤自動車営業

小岩 健二 ①40年②神奈川③帝人部
長④東京大文⑤記録メディア営業・医
薬品営業

近藤 勝行 ①42年②千葉③丸紅・丸
紅パワーステムズ執行役員常務④東
京大法⑤発電事業

笠間 龍雄 ①47年②埼玉③朝日生
命・朝日生命キャピタル常務④一橋大
社会⑤国際金融・経済調査

藤津 勤 ①45年②東京③富士銀行支
店長④横浜国大経済⑤M&A仲介・Q
C活動

遠藤 恭一 ①47年②東京③三井物産
執行役員・テレパーク監査役④早稲田
大政経⑤鉄鋼原料・欧州